

湖南省公共施設等総合管理計画について

①計画の概要

《計画策定までの流れ》

平成 16 年 10 月 1 日に 2 町合併で誕生した湖南省には、旧両町で整備してきた施設がそのまま引き継がれ、数多くの公共施設を保有している。

湖南省が保有する公共施設の多くは 1970 年代から 1980 年代にかけて建設されたもので、それらの施設は老朽化が進んでおり、年々維持管理に係る経費が増えていく傾向にある。しかも、今後、それら施設の建て替えや大規模修繕には多額の経費が必要となってくる。

これからの人口減少や少子高齢化などに伴い、持続可能な行政運営を図っていくためには、市が数多く保有している公共施設のあり方の見直しが必要である。



平成27年 3 月『湖南省公共施設白書』を策定

(施設の現状把握を行い、今後のあり方を検討するための基礎資料)



平成27年 6 月『湖南省公共施設等マネジメント推進基本条例』を制定

(目的)

第 1 条 この条例は、将来の湖南省における公共施設等の新設、建替え、統廃合、長寿命化及び老朽化対策改修の計画的な取組に関し、その基本理念及び基本的事項を定め、持続可能な行政運営の下で、湖南省にとって望ましい特色のある公共施設等配置の在り方を示し、時代の変化に対応した市民サービスを継続的に提供することにより、誰もが住み続けたいくなるような魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。

(基本理念)

第 3 条 公共施設等マネジメントは、次に掲げる事項を基本理念として行うものとする。

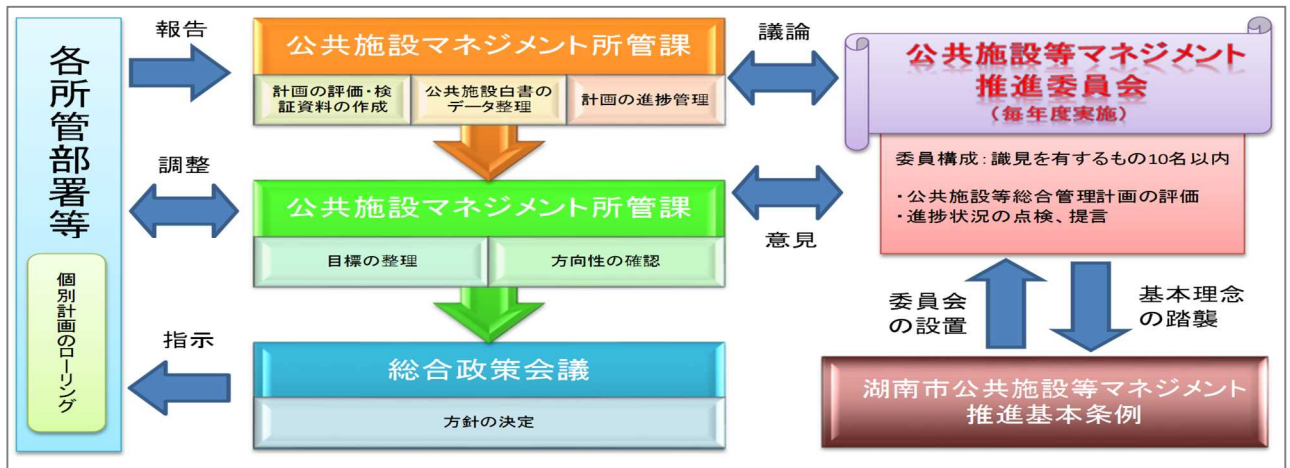
- (1) 市民の生命、身体及び財産の安全を第一義としつつ、活気と希望に満ちた豊かで創造的なまちづくりに取り組むこと。
- (2) 限られた資源の有効的な活用及び効率的な事業手法を導入し、次世代に過度の負担を課さず、世代間の公平性が確保されるよう取り組むこと。
- (3) 公共施設等マネジメントの実施に当たっては、人口減少社会の到来、経済の成熟化等社会経済情勢の変化を踏まえつつ、市、市民、関係団体及び事業者が連携及び協働して取り組むこと。



平成28年3月『湖南省公共施設等総合管理計画』を制定

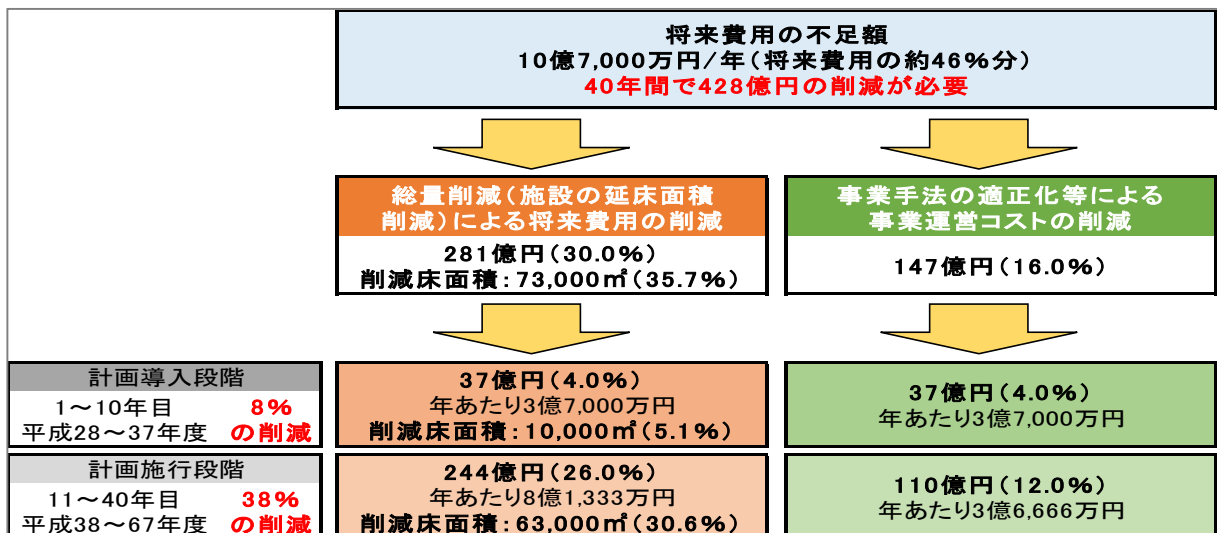
湖南省公共施設白書で整理した公共施設等における現状の課題や取組の方向性などを踏まえ、本市の身の丈に応じた施設保有量等の実現や、将来ニーズに対応した施設再編成の方向性を示すことを目的に策定したもの。

■公共施設等のマネジメント実践のための組織体制



■公共施設等マネジメントにおける基本目標

公共施設の保有に必要となる経費の不足を解消するため、次の計画数値目標を設定



② 湖南省公共施設等総合管理計画の進捗状況について

・ 東庁舎周辺整備

平成28年1月	「湖南省東庁舎周辺整備計画（基本構想）」策定
平成29年11月	「湖南省庁舎建設及び周辺整備基本計画」策定
平成30年12月	「湖南省複合庁舎整備基本設計」策定
平成31年1月～	「湖南省複合庁舎整備実施設計」実施（～令和元年度）

※新型コロナウイルス感染症対策を最優先とするため庁舎整備事業についてはいったん立ち止まり、その着工時期については財政状況の好転を見極めたうえで決定することとしています。

・ 公共施設の廃止（延床面積の削減）

年度	施設名	延床面積（㎡）	備考
平成29年度	青少年自然道場	1,699	
平成30年度	中央まちづくりセンター	1,055	
	勤労青少年ホーム	622	
	伝統工芸会館	671	
	阿星野外ステージ	158	
令和元年度	雨山市民プール	2,543	
	阿星保育園	906	民営化
	三雲保育園	859	民営化
	水戸保育園	609	民営化
	菩提寺こども園	1,025	1,638㎡中1,025㎡のみ民営化
	石部幼稚園	1,199	民営化
	石部南幼稚園	1,186	民営化
計		12,532	

・ 公共施設の転用

年度	施設名	延床面積（㎡）	備考
平成30年度	女性センター	798	施設を廃止し令和元年度より教育サポートセンターとして活用
計		798	

・ 令和2年度の取組

次の施設について、今後のあり方を検討中

施設名	延床面積（㎡）	備考
じゅらくの里「木工の館」	83	廃止について検討
妙感寺多目的集会所	475	地域譲渡について検討
石部駅コミュニティハウス	295	石部駅周辺整備に伴い廃止を検討